

受験番号

令和8年度熊本大学大学院社会文化科学教育部

博士前期課程

外国人留学生入試 入学試験問題（第一期募集）

専門科目（刑法）問題用紙

法政・紛争解決学専攻

法政・紛争解決学研究コース

注意事項

1. 試験開始時間までは次頁以降を見てはいけません。
2. 試験開始の合図の後、直ちに表紙、問題用紙および解答用紙に受験番号を記入してください。
3. 問題用紙が1枚、解答用紙が2枚、下書き用紙が1枚ありますので、開始の合図の後、乱丁や落丁がないかどうか確かめてください。
もしあれば、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙の追加はしません。
4. 配付した用紙は、すべて持ち帰ってはいけません。
5. 試験時間終了まで退室はできません。

令和8年度熊本大学大学院社会文化科学教育部
博士前期課程外国人留学生入試 入学試験問題（第一期募集）

専門科目 問題用紙（全1枚中の1枚目）

受験番号

--

【問1】、【問2】および【問3】に解答しなさい。なお、【問2】および【問3】の解答に際しては、どの小問を選択したかを解答用紙に明記すること。

【問1】

日本における刑法の基本原則である①行為主義、②罪刑法定主義、③法益保護主義、④責任主義の内容をそれぞれ簡潔に説明しなさい。

【問2】

以下（1）～（3）のうち1つを選択し、その小問の指示に従って解答しなさい。

（小問）

- （1）不真正不作为犯における作為義務の発生根拠としていかなるものがあるか、説明しなさい。
- （2）正当防衛（刑法36条1項）と緊急避難（同37条1項本文）の成立要件の共通点と相違点を、条文の文言に即しながら説明しなさい。
- （3）心神喪失（刑法39条1項）と心神耗弱（同39条2項）の内容と法的効果を説明しなさい。

【問3】

以下（4）～（6）のうち1つを選択し、その小問の指示に従って解答しなさい。

（小問）

- （4）交際相手Aから心中（一緒に死ぬこと）をもちかけられたXは、全く死ぬ気がないにもかかわらず、Aのあとを追って自殺する意思があるかのように装い、Aが準備した毒物を先に飲むように伝え、Xが追死することを誤信したAがこれを飲み死亡した。Xはいかなる罪責を負うか、説明しなさい。
- （5）Yが公園を散歩していたところ、砂場で子Bと遊んでいた母親Cがベンチ上にスマートフォンを置いたままBを連れて公園を出ていった。Yは、Cが公園から200メートルほどはなれた歩道橋をわたるのを見届けた上でこれを取得した。なお、Cは、公園から700メートルの距離にある駅改札口前で置き忘れに気づき急いで公園に戻ったが、Yが取得したあとであった。Yはいかなる罪責を負うか、説明しなさい。
- （6）Zは、深夜に散歩していたところ、敵対する集団DのリーダーEが所有するオートバイが河川敷（川岸と堤防に挟まれた、増水時に水が流れる平坦な土地）に停めてあるのをみかけた。Zがライターオイル80mlを車体にかけて点火したところ、2メートルほどの炎をあげてオートバイは全焼した。なお、この河川敷にはこのオートバイ1台しかなく、また半径200メートル圏内に住宅や倉庫その他の建造物もなかった。Zはいかなる罪責を負うか、説明しなさい。

専門科目（刑法） 解答用紙（全2枚中の2枚目） 受験番号

--

【問2】(続き)

【問3】（選択した小問： ）

(下書き用紙)